

記者発表（配付）資料

令和8年3月17日

所属部課	局長	課長	係長	担当	連絡先
萩市教育委員会事務局 スポーツ振興課	岸田 尚之	中村 真二	藤田 知子	宮川 凌	0838-25-7311

件名	全国大会出場選手激励会の開催について
----	---------------------------

下記の日程で、全国大会出場選手の激励会を開催しますのでお知らせします。

記

- ・日時 令和8年3月19日（木） 午後5時30分～6時00分
- ・ところ 萩市役所 2階 大会議室

大会名：令和7年度 第53回全国高等学校選抜卓球大会

日程：令和8年3月22日（日）～25日（水）

場所：リージョンプラザ上越（新潟県）

所属	学年	選手	種目
萩光塩学院高等学校	2年	おかだ くみこ 岡田 久美子	女子学校対抗 （団体戦）
		つの 角 ころろ	
		なかむら ひより 仲村 日和	
		まえだ かほ 前田 花穂	
	1年	よしなが あんな 吉永 杏奈	
		ためちか さな 爲近 咲奈	
		ふじた こはる 藤田 小春	

大会名：第48回（2025年度）全国JOCジュニアオリンピックカップ
春季水泳競技大会

日程：令和8年3月27日（金）～30日（月）

場所：東京アクアティクスセンター（東京都）

所属	学年	選手	種目
太陽フィットネスクラブ萩	明倫小3年	よしむら ももか 吉村 桃花	自由形50m

大会名：第29回全国高等学校少林寺拳法選抜大会

日 程：令和8年3月27日（金）～29日（日）

場 所：善通寺市民体育館（香川県）

所属	学年	選手	種目
萩光塩学院高等学校	2年	きむら かほ 木村 夏帆	自由単独演武の部
萩商工高等学校	2年	なかがわ るの 中川 瑠乃	自由単独演武の部

大会名：第27回全国中学選抜卓球大会

日 程：令和8年3月28日（土）～29日（日）

場 所：浜松アリーナ（静岡県）

所属	学年	選手	種目
萩光塩学院中学校	2年	くぼ まどか 久保 円香	女子団体戦
		まえだ れい 前田 怜	
	1年	てらだ らん 寺田 蘭	
		まつもと まこ 松本 茉莉	
		みぞぶち 溝渕 まいり	
		やまぐち 山口 ちなみ	

記者発表（配付）資料

令和8年3月17日

所属部課	部長	課長	室長	担当	連絡先
萩市商工観光部観光課	藤原 章雄	中村 浩二	永安 広司	後藤 優気	0838-25-3644

件名	南明寺のイトザクラが開花し始めました
----	--------------------

萩市椿地区にある南明寺のイトザクラが開花を始め、淡紅色の花を咲かせております。

今年は、3月10日から開花を始め、満開は3月18日頃と思われます。

令和8年3月10日



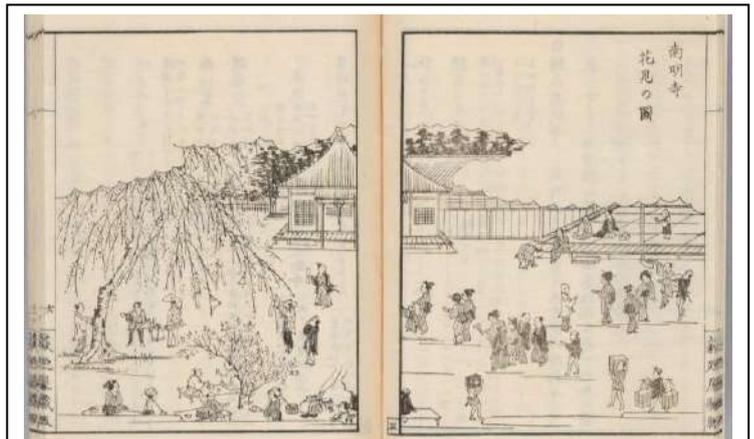
【南明寺について】

萩市椿地区にある、南明寺は南明寺山の中腹にあり、大同元年（806年）の創建と伝えられています。萩でも最も古い由緒を持つ寺院です。

現在の萩市の花見の名所といえば、萩城跡の指月公園ですが、藩政時代にはこの南明寺がサクラの名所でした。

彼岸過ぎの開花時期には城下の多くの人々が花見に訪れ、開花が早く他のサクラが咲く頃には散ってしまうことから、萩の方言をもじった早口言葉「南明寺のイトザクラ、散っちゃあ、行っちゃあ、見ちゃああつても、咲いちゃあ、行っちゃあ、見ちゃあない」が有名です。

これらの様子が藩政時代の観光マップと言われる「八江萩名所図画（やえはぎめいしよずえ）」にも「老いも若きもイトザクラに由緒を求め・（中略）実に春遊佳境の一にして、勝景筆につくしがたし」と当時の風情が描かれています。



『八江萩名所図画』（山口大学図書館所蔵）

出典：国書データベース

<https://doi.org/10.20730/300066346>



出典: 国土地理院「地理院地図」

基本情報

場所	萩市椿 6 2 6
駐車台数	南明寺のそばに駐車場があります（普通車約 7～8 台）
備考	国道 262 号線に「南明寺」への矢印看板が出ています。 （途中の道がたいへん狭いので、対向車にご注意ください） ※普通車のみ通行可

記者発表（配付）資料

令和8年3月18日

所属部課	部長	課長	主幹	係長・担当	連絡先
萩市商工観光部 まちじゅう博物館推進課	藤原 章雄	大槻 洋二	金田 農	長岡 夕美	0838-25-3290

件 名	北海道平取町長らが、萩まちじゅう博物館を 視察するために萩市を訪問されます
-----	--

この度、アイヌ文化が色濃く残り、これらを伝承する取組みを進めている北海道平取町（びらとりちょう）の町長らご一行が、萩まちじゅう博物館の取組みを視察するために、萩市を訪問し、萩市長と会談されますので、お知らせします。

記

視察の概要

日 時 令和8年3月21日（土）

視察者 遠藤桂一（平取町長）
齊藤忍（びらとり観光協会事務局長）
山木正生（平取町山岳会長）
平村徹郎（びらとり観光協会会長）
柳秀雄（平取アイヌ文化振興公社アドバイザー）
平取町職員4名
北海道大学観光学高等研究センター 西山教授 他3名

※西山教授は長年にわたり、萩まちじゅう博物館構想を提唱され、
長年にわたって指導いただいています。

内 容 午前8時半～9時半 萩博物館にてガイダンス
午前10時～11時半 浜崎しっちょる会ガイドによる浜崎伝建地区まち歩き
午前11時30分～午後12時30分 市長会談
(浜崎の古民家レストラン 舂子176にて会食形式)
午後1時～2時30分 萩博物館にて
西山教授の萩まちじゅう博物館についての講話
午後2時30分～午後4時 NPO 萩まちじゅう博物館ガイドによる
古地図を片手にぶらり萩歩きの体験（堀内伝建地区等）

※市長会談を取材される場合は、店舗との調整がございますので、
前日までに事務局にご相談下さい。

解禁日時：令和8年3月19日（木）19時

記者発表（配付）資料

令和8年3月19日

所属部課	部長	課長	課長補佐（担当）	連絡先
萩市総務部 人事課	田村 佳代子	相 央多	山中 智子	0838-25-1239

件 名	令和8年4月1日付け 萩市人事異動について
-----	-----------------------

このことについて、別紙のとおりお知らせします。

令和8年4月1日付け 萩市人事異動

《兼務の一部は省略》

発 令 事 項	旧 所 属	氏 名
< 部 長 級 >		
田万川総合事務所長	農林水産部部次長（林政課長）	大谷 聡
むつみ総合事務所長	須佐総合事務所所次長（市民生活部門総括）	豊田 謙次郎
市民部長	保健部長	廣石 泰則
保健部長	教育委員会事務局副局長（教育政策課長）	中村 雄一郎
農林水産部長	農林水産部部次長（農政課長）	市瀬 公俊
上下水道局長	土木建築部次長	木村 宏
消防本部消防長	消防本部消防次長	堀 秀通

< 部 次 長 級 >		
総務部次長 兼ねて人事課長	保健部健康増進課長	恩村 博文
総務部次長 兼ねて契約監理課長 兼ねて技術検査課長	商工観光部次長	國光 博基
川上総合事務所地域調整監（部次長待遇） 兼ねて旭総合事務所地域調整監（部次長待遇）	川上総合事務所地域調整監（課長待遇）	藤井 従寛
須佐総合事務所次長 兼ねて須佐総合事務所市民生活部門総括	田万川総合事務所次長（市民生活部門総括）	宮内 良昌
市民部次長 兼ねて課税課長	福祉部高齢者支援課長	浅野 祐治
兼ねて国民健康保険福川診療所長	保健部次長	前川 恭子
保健部次長 兼ねて地域医療推進課長 兼ねて中核病院準備室長	保健部中核病院準備室長	野間 隆司
商工観光部次長	総務部財政課長	兼 竜也
上下水道局次長（部次長待遇） 兼ねて上下水道局総務課長	上下水道局総務課長	後藤 利幸
上下水道局次長（部次長待遇） 兼ねて下水道建設課長	上下水道局下水道建設課長	西村 純司
副会計管理者 兼ねて会計課長	市民部次長	蜂屋 陽子
萩市選挙管理委員会事務局書記に併任 選挙管理委員会事務局長補佐	監査委員事務局長（部次長待遇）	河村 美保子
教育委員会事務局副局長（部次長待遇） 兼ねて教育政策課部活動改革推進室長	商工観光部次長	山本 一也
教育委員会事務局副局長（部次長待遇） 兼ねて教育政策課長	総務部人事課長	梶 央多
消防本部消防次長 兼ねて消防総務課長	消防本部消防総務課長	瀧口 吉祥

< 課 長 級 >		
総務部財政課長	総務部財政課主幹	右田 淳
総合政策部デジタル政策課長	総合政策部情報政策課長	藤崎 晋
総合政策部萩暮らし応援課長	総合政策部おいでませ、豊かな暮らし応援課長	上田 知由

令和8年4月1日付け 萩市人事異動

《兼務の一部は省略》

発 令 事 項	旧 所 属	氏 名
川上総合事務所市民生活部門総括	教育委員会事務局萩図書館長	武安 和孝
川上保育園長（主幹待遇）	川上保育園長（課長補佐待遇）	桐崎 純子
田万川総合事務所地域調整監（課長待遇） 兼ねて須佐総合事務所地域調整監（課長待遇）	教育委員会事務局文化・生涯学習課長補佐	平田 敏郎
田万川総合事務所市民生活部門総括	福祉部福祉政策課長補佐	田村 広巳
田万川総合事務所産業振興部門総括	小川支所長	中村 恭久
小川支所長	田万川総合事務所産業振興部門総括	須子 泰敬
須佐総合事務所産業振興部門総括	上下水道局水道工務課長補佐	西川 仁了
旭総合事務所市民生活部門総括	佐々並支所長	山本 秀美
あさひ保育園長（主幹待遇）	あさひ保育園長（課長補佐待遇）	大藤 悦子
佐々並支所長	旭総合事務所市民生活部門総括	池永 賢
紫福支所長	商工観光部観光課課長待遇	永安 広司
市民部市民活動推進課主幹	商工観光部まちじゅう博物館推進課主幹	金田 農
市民部市民課長	川上総合事務所市民生活部門総括	恩村 勲
市民部環境政策課長	市民部環境衛生課主幹	波田 洋行
福祉部福祉政策課主幹 兼ねて福祉政策課指導監査室次長	土木建築部土木課長補佐	松嶋 志津
福祉部高齢者支援課長	市民部課税課長	戸禰 憲尚
椿東保育園長（主幹待遇）	椿東保育園長（課長補佐待遇）	高津 喜代子
保健部健康増進課長	保健部地域医療推進課長	神崎 公克
市民病院診療部医局長 兼ねて診療部医局整形外科科長	市民病院診療部医局整形外科科長	武藤 正記
市民病院診療部医局循環器科科長	市民病院診療部医局医長	吉富 亮介
市民病院診療部医局消化器科科長	市民病院診療部医局医長	和泉屋 勇太
市民病院診療部医局小児科科長	市民病院診療部医局医員	河村 麻衣
市民病院診療部診療支援局主幹	市民病院診療部診療支援局総括臨床検査技師（課長補佐待遇）	榎林 秀記
市民病院診療部診療支援局主幹	市民病院診療部診療支援局総括診療放射線技師（課長補佐待遇）	三輪 光良
市民病院感染対策室主幹 兼ねて看護部看護師長	市民病院看護部看護師長	大谷 剛
農林水産部農政課長	市民部環境衛生課長	河野 裕昭
農林水産部林政課長	総合政策部産業戦略室長	小野 真文
農林水産部水産課長	商工観光部萩・明倫学舎推進課長	服部 哲也

令和8年4月1日付け 萩市人事異動

《兼務の一部は省略》

発 令 事 項	旧 所 属	氏 名
商工観光部産業政策課長	商工観光部企業誘致推進課長	大久保 成彦
商工観光部観光政策課長	商工観光部観光課長	中村 浩二
商工観光部文化財保護課長	農林水産部水産課長	柳井 淳治
兼ねて観光政策課萩・明倫学舎推進室	商工観光部萩博物館統括学芸員	道迫 真吾
商工観光部ジオパーク推進課長	総合政策部ジオパーク推進課長	堀 成夫
土木建築部土木課長	須佐総合事務所産業振興部門総括	西田 祐司
兼ねて上下水道局総務課経理班長（課長補佐待遇）	上下水道局総務課主幹	末永 洋祐
上下水道局水道工務課長	土木建築部土木課長補佐	津田 晃
上下水道局下水道建設課主幹 兼ねて下水道建設課長補佐（下水道建設担当）	上下水道局下水道建設課長補佐	乙丸 竜治
萩市監査委員事務局書記に併任 監査委員事務局長補佐	選挙管理委員会事務局長（課長待遇）	兒玉 彰
教育委員会事務局萩図書館長	会計課長	佐々木 礼子
消防本部消防総務課主幹	消防本部消防総務課長補佐	野稻 健司
消防本部警防課長	消防本部予防課長	渡 直人
兼ねて警防課長補佐（警防担当）	消防本部警防課主幹	田辺 喜一郎
消防本部予防課長	消防本部予防課主幹	藏貫 豪
消防署長	消防本部警防課長	田中 勝一
消防署主幹	消防署第1小隊長	田村 真治

令和8年4月1日付け 萩市人事異動【新規採用】

【市長部局】

発 令 事 項	旧 所 属	氏 名
< 課 長 級 >		
国民健康保険見島診療所長		中谷 義弘
国民健康保険大島診療所長		岡本 尚樹
市民病院診療部医局医長		山本 一太

令和8年3月31日付け 萩市人事異動【退職】

発 令 事 項	旧 所 属	氏 名
< 部 長 級 >		
願により本職を免ずる	田万川総合事務所長	須郷 嘉
< 課 長 級 >		
願により本職を免ずる	総合政策部おいでませ、豊かな暮らし応援課（相島担当） （課長待遇）	山根 章
願により本職を免ずる	国民健康保険見島診療所長	吉田 悠真
願により本職を免ずる	国民健康保険大島診療所長	江副 一花
願により本職を免ずる	市民病院診療部医局長	山田 倫生
願により本職を免ずる	市民病院診療部医局消化器科 科長	藤村 寛之
願により本職を免ずる	市民病院診療部医局小児科科 長	井上 裕文
願により本職を免ずる	上下水道局水道工務課長	横田 典明

【消防】

発 令 事 項	旧 所 属	氏 名
< 課 長 級 >		
願により本職を免ずる	消防本部警防課主幹	日隈 充治

令和8年4月1日 萩市人事異動の骨子

令和8年4月1日付け人事異動の規模は、328名（前年度：288名）
となっています。

今回の異動の特色等については、以下のとおりです。

1. 異動の規模（採用・退職・教職員を除く。） *兼務、併任含む

部長級	7名	(11名)	
部次長級	15名	(9名)	
課長級	48名	(36名)	
課長補佐級	49名	(51名)	
係長級	73名	(72名)	
主任以下	136名	(109名)	
計	328名	(288名)	*カッコ書きは前年度

2. 今回の異動の特色

(1) 組織・機構の主な改編等

① タテ割組織からヨコにつながる組織づくり

多様化する行政ニーズにより効果的かつ円滑に業務遂行ができる組織体制を構築し、職員が柔軟に連携する「ヨコのつながり」を活用するなど、タテ割組織からヨコにつながる組織を目指していきます。

- 1) 市有財産の管理や活用など財政運営を一体的に進めるため、『財政課』と『財産管理課』を『財政課』に統合
- 2) 庁内の情報化とDXを一体的に推進し、デジタル技術の活用による業務効率化を更に加速させるため、『情報政策課』と『DX推進室』を統合し、『デジタル政策課』を新設
- 3) 移住・定住対策に加え、地域や離島振興を図るなど、萩で暮らす人を更に応援するため、『おいでませ、豊かな暮らし応援課』を『萩暮らし応援課』に名称変更

- 4) 廃棄物対策だけでなく、環境保全対策にも力を入れていく必要があるため、『環境衛生課』を『環境政策課』に名称変更
- 5) 産業・商工振興、企業誘致を一体的に促進していくため、『産業戦略室』『商工振興課』『企業誘致推進課』の3課を統合し、『産業政策課』を新設
- 6) 戦略的な観光誘客とインバウンド対応、観光の起点「萩・明倫学舎」の機能強化を図るため、『萩・明倫学舎推進課』を『観光課』内に編入し、『観光政策課』を新設
- 7) 『ジオパーク推進課』を観光や文化財、産業部門に加え、まちづくりやコミュニティの形成・活動に実績がある部署を所管する『商工観光部』に移管

②班体制のモデル導入

事務配分を調整しながら効率よく柔軟に業務を行うことや、役職定年制の導入に伴い、管理職以外のポジションにおいて、これまでの知識や技術等を有効に発揮できるように、令和6年度から班体制をモデル的に導入しています。

令和8年度は、新たに『財政課』『デジタル政策課』『環境政策課』『産業政策課』『観光政策課』『ジオパーク推進課』『水道総務課』『水道工務課』の8部署に導入します。

(2) 職員派遣等

多様な価値観や幅広い人間性の形成など、時代の変化に対応できる人財を育成することを目的に、職員のスキルアップや意識改革を図るため、次の関係機関へ職員を派遣します。

- ・内閣官房行政実務研修員 1名
- ・山口県後期高齢者医療広域連合 1名
- ・一般社団法人萩市観光協会 1名
- ・萩・長門清掃一部事務組合 3名
- ・社会福祉法人萩市社会福祉協議会（見島保育園） 1名

『内閣官房産業遺産の世界遺産登録推進室』 <<新規>>

稼働中の資産を含む産業遺産に係る世界遺産登録の推進やその保全管理について、幅広い関係機関や関係者との連絡調整を通じて、見識の拡大やコミュニケーション能力の向上を図るため、行政実務研修員として、内閣官房の「産業遺産の世界遺産登録推進室」に令和8年度から2年間、職員1名を派遣します。

(3) 女性職員の登用

女性職員の管理職は、課長級以上に5名を登用した結果、部長級は2名（令和7年度：2名）、部次長級は5名（令和7年度：5名）、課長級は15名（令和7年度：12名）となりました。

課長級以上の女性職員の割合は、目標数値の20%に対して、16.3%（令和7年度：14.2%）となり、前年度比で2.1%の増加となりました。

また、係長級以上の女性職員の割合は、目標数値の33%に対して、33.7%（令和7年度：32.5%）となり、前年度比で1.2%の増加となりました。

階級	R8.4.1に昇格した者		各階級の人数（R8.4.1時点）		
	総数	うち女性	総数	うち女性	女性割合
部長級	6名	0名	23名	2名	8.7%
部次長級	9名	0名	22名	5名	22.7%
課長級	15名	5名	90名	15名	16.7%
課長級以上 (R7)	30名 (26名)	5名 (5名)	135名 (134名)	22名 (19名)	16.3% (14.2%)
課長補佐級	7名	3名	104名	34名	32.7%
係長級	15名	10名	173名	83名	48.0%
係長級以上 (R7)	52名 (62名)	18名 (25名)	412名 (416名)	139名 (135名)	33.7% (32.5%)
主任以下	18名	11名	415名	224名	54.0%
全職員 (R7)	70名 (83名)	29名 (37名)	827名 (832名)	363名 (370名)	43.9% (44.5%)

< 萩市特定事業主行動計画に掲げた目標数値（R7年度末の目標数値） >

- ・ 課長級以上の女性職員の割合 = 20%
- ・ 係長級以上の女性職員の割合 = 33%

3. 職員数の増減

令和8年4月1日現在の職員数（特別職を除く）は、次のとおりです。

(1) 一般職員数（市民病院、診療所及び消防職員を除いた職員数）

	職員数		比較		《参考》
	総数	（うち再任用 フルタイム）	前年比 （総数）	H17比 （総数）	再任用 短時間
平成17年4月1日 （合併直後）	809名	（2名）	—	—	0名
令和7年4月1日	545名	（10名）	▲5名	▲264名 （▲32.6%）	20名
令和8年4月1日	548名	（4名）	3名	▲261名 （▲32.3%）	14名

(2) 全職員数

	職員数		比較		《参考》
	総数	（うち再任用 フルタイム）	前年比 （総数）	H17比 （総数）	再任用 短時間
平成17年4月1日 （合併直後）	1,036名	（3名）	—	—	0名
令和7年4月1日	810名	（11名）	0名	▲226名 （▲21.8%）	22名
令和8年4月1日	810名	（5名）	0名	▲226名 （▲21.8%）	17名

(3) 新規採用・退職（再任用職員を除く。）

- ① 令和8年4月1日付 新規採用職員 44名
- ・事務 19名 ・土木技術職 2名 ・保健師 3名
 - ・保育園調理員 2名 ・学校給食調理員 1名 ・消防職員 4名
 - ・診療所医師 3名 ・診療所看護師 1名 ・市民病院医師 4名
 - ・市民病院看護師 3名 ・市民病院作業療法士 2名
- ② 令和8年3月31日付 退職職員 23名
- ・定年前退職 8名
 - ・自己都合退職 15名

記者発表（配付）資料

令和8年3月19日

所属部課	部長	課長	係長	担当	連絡先
萩市農林水産部 水産課	白神 敦司	柳井 淳治	白井 暢	伊藤 史哉 小田 紀佳	0838-25-4195

件名	「第21回萩の和船大競漕 ～おしくらごう～」 中学生・女性・一般の部 参加チームの募集について
----	--

玉江浦地区に藩政時代から約300年にわたり受け継がれている和船競漕「おしくらごう」。この「おしくらごう」の開催にあわせて、地域間交流、伝統文化の継承を目的とした、「第21回萩の和船大競漕」を開催します。

中学生・女性・一般の部において参加チームの募集を行いますので、お知らせします。



1. 日時

令和8年6月7日（日） 午前8時30分～午後13時00分（小雨決行）

2. 場所

橋本川下流域河川敷・常盤橋～玉江橋間（萩市玉江浦）

3. 内容・スケジュール（予定）

- ・開会式 8：30～
- ・中学生の部（予選） 和船競漕 9：00～
- ・女性の部（予選） 和船競漕 9：30～
- ・一般の部（予選） 和船競漕 10：00～
- ・中学生・女性・一般の部（決勝） 和船競漕 11：00～
- ・玉江浦「おしくらごう」 12：00～
- ・閉会式 12：30～

4. 募集概要

- ・募集期間：【中学生の部】令和8年3月23日（月）～4月24日（金）※必着
【女性・一般の部】令和8年3月23日（月）～4月17日（金）※必着
- ・募集方法：公募（萩市HP、防災メール等）
- ・募集部門：中学生・女性・一般の部
- ・登録人数：中学校・女性・一般の部ともに1チーム7名までとします。
出場は、漕ぎ手5名とし、舵取りの乗船もできます。
- ・出場参加料：中学生の部【無料】
女性・一般の部【一人400円（1チーム2,000円～2,800円）】
*参加料は申請時に支払い
- ・参加資格：中学生以上
- ・競技方法等：直線コース（300m）
和船には補助員が2名乗船します。
- ・競技規定：参加チーム数等により、代表者会議で決定します。
- ・表彰：各部門1位～3位（チーム数により変更の可能性有）

5. 申込方法

【中学生の部】

萩市水産課備え付けの参加申込書（萩市HPからダウンロード可）に必要事項を記入の上、令和8年4月24日（金）までに萩市水産課へ申し込むこと。

【女性・一般の部】

萩市水産課備え付けの参加申込書（萩市HPからダウンロード可）に必要事項を記入の上、参加料を添えて、令和8年4月17日（金）までに萩市水産課へ申し込むこと。



6. 練習日程等について

【中学生の部】

- ・5月2日（土）～5月31日（日）までの土日祝のみ
*平日練習については要相談
- ・練習は、1時間/回 *1日で2回以上練習することも可
- ・練習回数は、全部で3回までとする。
- ・練習日程の調整は、水産課において行う。

【女性・一般の部】

- ・4月25日（土）～5月31日（日）までの土日祝のみ
*平日練習については要相談
- ・練習は、1時間/回 *1日で2回以上練習することも可
- ・練習回数は、全部で3回までとする。ただし、未経験者が4人以上の場合は、5回までとする。
- ・練習日程の調整は、代表者会議において行う。

7. 代表者会議について ※女性・一般の部

日時：令和8年4月23日（木）18：30～ 場所：萩市役所第3会議室（教育委員会横） 内容：競技規定について、和船練習日程の調整 等
--

*代表者会議において協議事項がありますので、会議には必ず出席してください。

8. 問い合わせ・申込先

〒758-8555 山口県萩市大字江向510番地
萩の和船大競漕実行委員会事務局（萩市水産課 担当：伊藤・小田）
TEL 0838-25-4195 FAX 0838-25-3770
E-mail suisan@city.hagi.lg.jp

9. 参加上の注意事項

- (1) 天候等により大会を中止する場合があります。
- (2) 中止の場合は、萩市公式ホームページ、防災メール等でお知らせします。

10. 主催・共催

主催：萩の和船大競漕実行委員会 会長 西村 哲幸（にしむら てつゆき）
共催：山口県漁業協同組合はぎ統括支店、萩市

記者発表（配付）資料

令和8年3月19日

所属部課	局長	課長	係長	担当	連絡先
萩市教育委員会事務局 スポーツ振興課	岸田 尚之	中村 真二	藤田 知子	大谷 元	0838-25-7311

件名	ニュースポーツ ピックルボール体験会の実施について
----	---------------------------

市では、子どもから高齢者まで、幅広い世代の市民が生涯にわたって、健康で豊かな生活を営むことができるようスポーツの機会を提供しています。

この度、ニュースポーツを通じて、誰もが、いつでも、どこでも、誰とでもスポーツを楽しむことができる体験会（ピックルボール）を下記のとおり実施いたします。

記

1. 開催日程 令和8年3月25日（水）午後7時～午後9時

午後 6：30 受付

午後 7：00 開会

～レクリエーションとしてのピックルボールを体験～
ルールの説明・審判など『山口県ピックルボール協会』
（協力：萩市スポーツ推進委員協議会）

午後 8：50 閉会・会場清掃

2. 場所 萩武道館 多目的体育館（萩ウェルネスパーク内）

3. 参加者人数 24名 ※令和8年3月16日（月）申込締切
（経験の有無は問わず、9歳～72歳の幅広い世代から申込みがありました。）

4. 主催 至誠館クラブ、萩市教育委員会

5. 協力 萩市スポーツ推進委員協議会、山口県ピックルボール協会

記者発表(配付)資料

令和8年3月19日

所属部課	部長	課長	係長	担当	連絡先
萩市福祉部 高齢者支援課	松原 功明	浅野 祐治	伊藤 智美	齊藤 佐代子	0838-25-3137

件名	高齢者への補聴器購入費の助成を開始します
----	-----------------------------

加齢による聴力機能の低下により、日常生活に支障がある高齢者の方に、社会参加を促進し、認知症の予防や引きこもりの防止を図るため、補聴器の購入に要する費用の一部を助成します。

1 受付開始 **令和8年4月1日(水)**

※申請書類は4月1日以降に高齢者支援課、総合事務所、支所、出張所で配付、萩市ホームページからダウンロード可能。

2 対象者 以下の要件を全て満たす方

- ・市内に住所を有する65歳以上の方
- ・聴覚障害による身体障害者手帳の交付を受けていない方
- ・両耳の聴力レベルが40デシベル以上70デシベル未満で、耳鼻咽喉科の医師により、補聴器の装用が必要であると診断された方

3 助成内容 **補聴器購入費の2分の1(上限3万円)**

購入前に申請が必要。購入後の申請は受けられません。

4 申請方法 別添のチラシをご参照ください。

令和8年4月から高齢者の方への 補聴器の購入費を助成します



聴力機能の低下により日常生活に不便が生じている高齢者の方を対象に、円滑なコミュニケーションが維持できるよう、補聴器の購入費を助成します。

1 助成内容

補聴器購入費の2分の1(上限 30,000 円)を助成します。

※ご注意ください

- ・ 購入前に交付申請が必要です。交付決定を受ける前に購入した補聴器は、助成対象外です。
- ・ 管理医療機器として認定された補聴器が対象です。集音器は対象になりません。
- ・ 補聴器の修理、保守、電池交換及び付属品のみの購入に係る費用は対象外です。
- ・ 萩市内の補聴器販売店での購入が対象です。インターネット販売、通信販売での購入は対象外です。
- ・ 診察料、検査料及び意見書作成料等の受診費用は自己負担となります。

2 対象者(以下の要件をすべて満たす方)

- ① 萩市内に住所を有する65歳以上の方
- ② 聴覚障害による身体障害者手帳の交付を受けていない方
- ③ 両耳の聴力レベルが40デシベル以上70デシベル未満で、耳鼻咽喉科の医師により、補聴器の装用が必要であると診断された方

申請の流れは裏面へ

【申請・お問合せ先】 萩市福祉部 高齢者支援課 高齢福祉係

住所 萩市大字江向 510 番地(萩総合福祉センター1 階③窓口)
電話 0838-25-3137

申請から交付までの流れ

① 申請書類の準備

市役所高齢者支援課(萩総合福祉センター1階③窓口)、総合事務所、支所、出張所で受け取るか、市ホームページから印刷してください。

医療機関(耳鼻咽喉科)の受診

耳鼻咽喉科を受診し、医師から補聴器の装用が必要と認められたら、申請書の「医師の意見欄」の作成を依頼してください。

※受診や意見書作成に係る費用は自己負担となります。



② 萩市内補聴器販売店へ見積書を依頼

補聴器販売店で購入を予定する補聴器の「見積書」を作成してもらい、受け取ってください。

※見積書に記載された補聴器が助成対象補聴器となります。

③ 市役所で申請手続き

申請書(医師の意見欄記入後のもの)、見積書を提出してください。

④ 審査・決定

審査後、市より「交付決定通知書(または不交付決定通知書)」を郵送します。

⑤ 補聴器を購入

市から交付決定通知書が届き次第、見積書を依頼した萩市内補聴器販売店にて、見積書に記載された補聴器を購入してください。

※助成の交付決定前に購入した補聴器は助成の対象となりませんので、ご注意ください。

⑦ 助成金の請求

交付決定通知書に同封した「助成金請求書」、領収書を市高齢者支援課に提出してください。

⑧ 助成金の振込

「助成金請求書」に記載された口座に助成金をお振込みします。



記者発表（配付）資料

令和8年3月19日

所属部課	部長	課長	担当	連絡先
萩市農林水産部水産課	白神 敦司	柳井 淳治	白井 暢	0838-25-4195

件名	「食べたい 行きたい 旬の地魚がおいしいまち・萩」の実現に向けて 活締め技術認定証 及び 活〆ラベル授与式 開催
----	--



旬の地魚がおいしいまち・萩推進協議会は山口県漁業協同組合はぎ統括支店と連携して、萩産鮮魚の付加価値向上のため、外部専門家を招聘して漁業者や仲買人などに対し、鮮度保持の方法や梱包時の注意点などの講習等を行っています。

この度、4回目となる外部専門家による魚の鮮度保持処理技術の審査に合格した漁業者等へ、活締め技術認定証及び活〆ラベルの授与式を開催しますのでお知らせします。

◇活締め技術認定証及び活〆ラベル授与式

- 日 時：令和8年3月24日（火）午後4時30分～
- 場 所：山口県漁協はぎ統括支店1階（萩市椿東6446番地5）
- 内 容：（1）旬の地魚がおいしいまち・萩推進協議会 会長挨拶
（2）活締め技術認定証及び活〆ラベル授与（6名）
（3）審査員・認定者による講評
（4）集合写真撮影

◇活〆ラベルについて

- ・外部専門家の助言により豊洲市場や飲食店などマーケット側の視点で作成。
- ・種類は、通常版に加え、魚のキロ数と漁獲時期の認定基準を定めた特選版の2種類。
- ・侍が描かれているものは他にないとの意見から、デザインを萩らしく、特選版は吉田松陰、通常版は高杉晋作を描いたものに。さらに将来的な海外への輸出も見据え「IKEJIME」や「HAGI」といった英語表記も。
- ・品質向上のため、購入者の意見が漁師に届くように、アンケートを実施。

◇今後の取組について

- ・次年度も、認定者が増えるよう、引き続き、意欲のある漁業者の対する血抜き・活締めなどの鮮度保持処理技術の講習を行うとともに、「活〆ラベル」の認知度向上と消費拡大を図るため、市内外の飲食店等と連携した取り組みも検討していきます。

◇これまでの活締め技術認定者数

開催回	認定日	認定者数
第1回	令和6年2月13日	6
第2回	令和6年11月26日	2
第3回	令和7年2月27日	1

※現在の活締め技術認定者数は9名。

※今回の認定式で審査に合格した6名を認定し、15名となります。

◇審査員名簿

No.	所属	役職	氏名	備考
1	大都魚類株式会社活魚課	課長	河野 智和	外部専門家
2	東京都漁業協同組合連合会販売課	課長	渡邊 瑛之	外部専門家
3	山口県飲食業生活衛生同業組合萩支部	支部長	河村 剛太郎	
4	山口はぎ魚市場仲買人組合	組合長	大嶋 正之	
5	山口県漁協萩地方卸売市場	市場長	角野 立拓	

(主催) 旬の地魚がおいしいまち・萩推進協議会

(協力) 山口県漁業協同組合はぎ統括支店